



撮影者 撮影日 撮影場所



たのむけん!
撮石平正信さん 日平成26年5月
所三原運動公園(沼田東町釜山)



六月の三景園
撮網本和子さん 日平成26年6月
所三景園(本郷町善入寺)



花田植え
撮岡田和子さん 日平成26年6月
所大和町大具



影絵
撮木原恵美子さん 日平成26年6月
所三原駅前(城町一丁目)

投稿写真を募集

テーマ ～みはらの四季、みはら再発見、みはらの新たな観光スポット～

応募期限 4日(月)(必着)
応募資格 市内に在住か在勤・在学の人
募集枚数 1人1枚
選考 秘書広報課で選考
※投稿写真の著作権は市に帰属します。

※投稿写真は返却しません。
※広報誌で紹介できなかった写真は、市ホームページへ掲載することもあります。
申し込み 郵送またはEメールで、写真データか写真(L判サイズ)と、①撮影

者名②住所・電話番号③撮影日④撮影場所⑤作品名を秘書広報課(〒723-8601港町三丁目5番1号 ☎0848-67-6007 ㊚hishokoho@city.mihara.hiroshima.jp)へ



▲上手いかなくても、できるだけ子どもたちに打たせます

トントントン。深幼稚園に金づちでくぎを打つ音が響き渡りました。6月26日に行われた木工教室。子どもたちがくぎを打って船を作るのを手伝うのは、今井将史さんです。
4・5歳の子どもが扱うには危険と思われる金づち。誤って自分の手を叩いてしまう子どももいますが、「それも経験。人の

体験から学んでほしい

痛みが分かるようになる」と言います。木工を通して、自分で作ったものを大切に作る気持ち、最後まで作り上げる粘り強さ、出来上がったものを他と比べて自分に足りないものに気付くことを教えています。
木工教室のほかに、市内の幼稚園・小学校で田植え、餅つき、焼き芋作りなども指導しています。子どもたちも、当たり前のようにしていた家の手伝いから生活の知恵を学んだという今井さん。「今の子どもたちにも同じ経験をさせたい」と活動を続けます。

先生から相談を受けて、七夕飾りの笹やそうめん流し用の竹を採りに行くことも。積極的に教育現場に関わり、子どもの成長を見守る活動は、今年で15年目になります。これからは力になりたい」と意気込みます。



さまざまな分野でがんばる、キラリと光る人や活動を紹介します。



幼稚園・小学校で木工を指導する今井将史さん